

## 備前歴史フォーラム2015

## 「モノの伝播とカタチ ～備前焼の場合～」

## ①モノが伝わる ②カタチをまねる

【日 時】平成28年3月13日(日)10:00～16:30 基調講演&セッショントーク

【会 場】備前焼伝統産業会館3階総合研修室(岡山県備前市伊部1657-2)

※JR赤穂線伊部駅に隣接した会場です。

【主 催】備前歴史フォーラム実行委員会

【共 催】備前市教育委員会／中近世備前焼研究会

【後 援】(協)岡山県備前焼陶友会

【趣 旨】①『情報はどう伝わるのか』②『やきものかたちはどう伝わるのか』

2004年から講座やフォーラムというかたちで多くの方々と対話を重ねてきたこの集まりは、今年度で12回目を迎えます。その中で、備前焼の成立や製作技法、窯構造の変化と生産・流通の関係、さらに2014年度には「備前焼の“美”を考える」と題し、やきものの美をテーマの中心にすえ、資料学や美術史の視点から議論を深め、多くの方々から示唆に富むご意見や資料の提示、さらには研究の方向性をも暗示していただきました。こうした歩みの中で、窯業地「備前」として歴史の側面から見た今日的課題も展望できるようになりました。

2015年度のテーマは「情報はどう伝わるのか」、「やきものかたちはどうまねられるのか」ということです。考古学では「かたち」は「型式」で、その組合せは「様式」という言い方をしますが、では具体的にカタチはどのように伝わるのでしょうか。製作者から製作者へ、親から子へ、先生から弟子へ、さまざまなパターンが考えられます。その様子を「情報が伝わる」「カタチをまねる」という視点から考えていきます。備前焼と近似したやきものの生産をした窯業地「作見窯(加賀市)」、「安久窯(舞鶴市)」、「山本窯(豊岡市)」、「丹波窯(丹波市)」、「嶽壺(山口市)」の紹介を行うとともに、かたちをまねる行為の検証を行い、文献史、考古学、製作者などの視点で読み解いていきます。

今回のフォーラムでは京都系土師器が全国的にかたちだけがまねられる行為を詳細に分析した兵庫県立大学の中井淳史先生にお話をいただきます。また「情報がどう伝わり、定着するか」という視点から『古代・中世の情報伝達—文字と音声・記憶の機能論—』の著作がある山口県立大学の渡邊滋先生にお話をいただきます。

さらに「備前焼」と近似したやきものを生産した地域から潮崎誠(豊岡市)氏をお招きし、作見窯(加賀市)、安久窯(舞鶴市)、山本窯(豊岡市)、丹波窯(丹波市)、嶽壺(山口市)の映像とともに、乗岡実氏のコーディネートでトークセッションしていきます。コラムセッションでは、「情報が伝わる」「カタチをまねる」というテーマで、考古学と歴史学、窯業と現代陶などの視点で討論を行います。

【日 程】

3月13日(日) 基調講演・研究報告 10:00~16:40 (受付9:30~)

開 会

あいさつ 伊藤 晃(備前歴史フォーラム実行委員会委員長)

イントロダクション(10:05~10:20)

「備前焼に似た焼物を考える」 乗岡 実(岡山市教育委員会)

基調講演①(10:20~11:20)

「前近代日本における情報伝達—使者と書状の役割を中心に—」  
渡邊 滋氏(山口県立大学)

基調講演②(11:20~12:20)

「つくるをまねる—中世土師器を題材に—」  
中井淳史氏(兵庫県立大学大学院)

昼休憩(12:20~13:20)

パネル展示①・遺物レクチャー(13:25~13:35)

佐山東山窯跡群発掘資料速報展示 白石 純氏(岡山理科大学考古学教室)

パネル展示②・遺物レクチャー(13:35~13:45)

備前系生産地 大部谷窯ほか 実行委員会

映像「まねられた備前焼」&トークセッション(13:50~14:50)

司 会 乗岡実氏(岡山市教育委員会)  
出 演 潮崎誠氏(豊岡市) 井上靖子・赤井夕希子(実行委員会)  
映 像 作見窯(加賀市) 安久窯(舞鶴市) 山本窯(豊岡市)  
丹波窯(丹波市) 嶽 壺(山口市)  
コンテンツ演出 目賀里佳(実行委員会)

休憩(14:50~15:00)

コラムセッション「カタチをまねる」(15:00~16:30)

- ① 考古学(中井淳史氏) VS 歴史学(渡邊滋氏)
- ② 生産地「美濃」(加藤真司氏) VS 生産地「備前」(石井啓)
- ③ トータルセッション

閉会(16:30~16:40)

2016テーマ予告 高長茂幸(岡山セラミックス技術振興財団)  
実行委員会

【予 告】2016年度のテーマは「備前焼を科学する—科学と歴史の対話—」、2017年度「つくる—備前 2018年度のテーマは「焼く—窯づめと窯構造を検証する—」、焼の製作技法にせまる」など順次開催していく計画です。

**【誌上報告】**

乗岡実氏「備前焼をめぐる模倣製品と陶工・技術の移動」  
井上靖子「備前焼御細工人の世襲について」  
石井 啓「備前焼窯道具に関する一考察」  
実行委員会「製作技術の伝承～弟子入りについてのインタビューから～」  
実行委員会「価値と時間」  
資料紹介「備前焼と戦争」

※発表題目等は変更することがあります。

※資料持込を歓迎いたします。量的なものがありますので、事前に一報いただければ幸いです。

**【参加費】**

資料代 1,500 円程度（備前歴史フォーラム資料集 1 冊を含みます）

**【参加申込】**

備前歴史フォーラム実行委員会事務局（備前市教育委員会生涯学習課内）まで下記項目を記入し、はがき、封書、電子メール、ファックスで28年3月10日（木）までにお申込下さい。当日も会場定員（80名）に達していなければ参加可能。

**【事前申込の記入項目】**

お名前・所属・郵便番号・御住所・電話・メールアドレス・懇親会参加有無

**【申込先】**

備前歴史フォーラム実行委員会事務局  
（備前市教育委員会生涯学習課文化財係内）  
〒705-0021 岡山県備前市西片上7  
TEL(0869)64-1841・fax(0869)64-4285  
E-mail [/bzsyougai@city.bizen.lg.jp](mailto:bzsyougai@city.bizen.lg.jp)